

いっしょに読もう！新聞コンクール

野原さん(武生三中3年)ら3人優秀賞

県内3人奨励賞 村岡小に優秀学校賞



児童生徒が新聞記事を選び、家族や友人と話し合い意見をまとめる第8回「いっしょに読もう！新聞コンクール」の入賞者が23日発表された。福井県からは越前市武生三中3年の野原菜々子さん、福井市松本小6年の井川ひなたさん、同校5年の松田朋花さんが優秀賞に輝いたほか、



松田朋花さん



井川ひなたさん



野原菜々子さん



光家涼太君



前川陽香さん



水口更紗さん

3人が奨励賞に選ばれた。勝山市村岡小が優秀学校賞を受賞。7小学校と4中学が学校賞に新聞を、活動を広く知

てもらおうと日本新聞協会が毎年行っている。全国から4万7699点(昨年比2333点増)の応募があった。福井は県NIE推進協議会が窓口となり、21の小中学校から2062点(同224点増)が集まった。

都道府県の地域審査などを通った3749点を同協会が審査。小中高の最優秀賞各1点と「HAPPY NEWS賞」1点、優秀賞(小中高各10点)、奨励賞(120点)を選んだ。学校賞は団体応募の状況やNIEの取り組みなどの観点から優秀学校賞(小中高各5校)、学校奨励賞(143校)を決めた。

野原さんは「赤ちゃんポスト」開設10年と、特別養子縁組について報じた福井新聞の2本の記事を取り上げ、子どもたちが自分の意思で選択でき、幸せに生きていける日本になってほしい」と考えをまとめた。

井川さんは、増える高齢労働者を取り上げた福井新聞の記事を選び、少子高齢化対策として、若者を助ける仕事を専門とする高齢者だけの会社をつくることを提案した。

松田さんは、交流サイトを通じて犯罪に巻き込まれる子どもが増えているという福井新聞「子どもタイムズ」の記事から、情報モラルを勉強し、よく理解することが「自分の身を守ることにつながる」とした。

また、県NIE推進協議会賞19点、同協議会奨励賞209点も決まった。入賞者は26日付の紙面で紹介する。

(川塚康弘)

入賞者は次の皆さん。

▽優秀賞 松田朋花(松本小

5) 井川ひなた(同6) 野原菜々子(武生三中3)▽奨励賞 光家涼太(片上小3) 前川陽香(宝永小6) 水口更紗(成和中小)▽優秀学校賞 村岡小▽学校奨励賞 松本小、上庄小、有終南小、荒土小、大関小、長畝小片上小、成和中、武生三中、勝山北部中、東浦中